



No.484  
2018年  
2月号  
創立145年

## 結果を予想して、取り組んでみる

<http://www2.wakayama-wkv.ed.jp/nagusa/>

3学期の始業式で、子どもたちに、「自分からあいさつをすること」と「そうじをがんばること」を呼びかけています。

「自分からあいさつをすること」は、社会で暮らしていく中で気持ちよく生活するためのコミュニケーションを重視していることになると考えています。朝、最初に相手からの「おはよう」の声を聴くと気持ちがよくなります。自分からあいさつをすることで、相手に気持ち良さを伝えることになると考えています。是非、ご家庭でも、朝のあいさつを重視してください。

次に、「そうじをがんばること」は、自分の力量やそうじの場所の広さや汚れ具合を自分なりに判断し、時間内に最も効率よくきれいにすることを求められています。これは、見通しを持って取り組むことに繋がります。今新しくプログラミング教育の重要性も指摘されていますが、それにもつながる内容です。生活では最も重視される内容になると考えます。

それ以前に、そうじの仕方や用具の使い方を指導することは言うまでもありません。小学校では、いまだに、ほうきとちりとり、雑巾でそうじをしています。今の保護者の皆さんは、実際に自宅のそうじではそういうものをお使いではないかもしれません。子どもたちもこれらの使い方が分からないまま入学してきます。ほうきを掃除機のように使っている子どもも見かけるようになってきました。

私は今、玄関のそうじを5年生の子どもと行っています。私の考え方は先ほど書いた通りに効率よく掃除をさせたいと考えているので、誰が何を担当するのかを細かく決めないようにしています。決めてしまうとそれ以外の仕事はしなくなるからです。その場所を4人できれいにすることが目標になります。子どもの人数分のほうきと雑巾を用意しています。そして、前のそうじの時間でうまくいかなかったところを子どもたちに話させてそうじを終わるようにしています。毎日必ずしなくてはいけないそうじの内容とともに、余裕があるときに少しずつ自分なりの工夫を取り入れられるように指導を行っています。

社会に出た場合には、最終的な結果を予想して、自分で工夫して効率よく仕事をこなすことが必要になってきます。その素地を育てるのが小学校の教育と考えています。

(校長 鈴木 英樹)

## 2月 行事予定

日	曜	行事等	日	曜	行事等
1	木	子ども見守り強化の日	15	木	子ども見守り強化の日 授業参観学級懇談会 学校関係者評価委員会
3	土	子どもセンター「サッカー教室」 後期学校美術展（和歌山館） 県科学作品展（フォルテワジマ） 市PTA 研修会（市民会館）	16	金	行政相談出前授業6年
4	日	後期学校美術展（和歌山館） 県科学作品展（フォルテワジマ）	18	日	市町村対抗駅伝
6	火	新入児説明会 14:00～	21	水	クラブ（引継）
7	水	委員会 市立博物館見学3年	23	金	カウンセラー ALT

10	土	書初競書会中央展示（紀美野町中央公民館）	24	土	書初競書会中央展和歌山支部展（市民会館）
11	日	書初競書会中央展示（紀美野町中央公民館）	25	日	書初競書会中央展和歌山支部展（市民会館）
12	月	建国記念の日	27	火	お別れ遠足（USJ）
13	火	給食費振替日			
14	水	クラブ			

## 新たな発見！ 布引大根

3年生に付いて、布引大根の収穫体験に行きました。私は3年目で初めての体験です。

まず、農家の南方さんから布引の土地についての説明を受けました。「布引の砂は紀ノ川が運んできた土がもとになっている」ことや「海岸の砂とは質が違う」ことなどを話してもらいました。私自身は、水はけの良さやさらさらした砂なので大根が大きく育つと考えていたので、まずびっくり！ さらに、この砂でないとよい布引大根はできないと聞いて 2度びっくり！ 手に取ってみると、思ったよりもさらさらしていない砂で水分を含んでいました。

その後、畑で育てている大根を抜かせてもらいましたが、「どれを抜いてもいいよ」「太い大根を選んで抜いてね」と南方さんの優しい言葉がありました。抜く感触も、思ったほど力が要らず、うまく抜けました。

さらに話を聞くと、今回収穫させてもらった大根はトクホマレという品種で、ほとんどが大阪の市場に行ってしまうとのことでした。

実際に体験してみないとわからないことが多いなと実感した収穫体験でした。（校長）



## アレルギーについて知ろう！～2月20日はアレルギーの日～

2月20日は「アレルギーの日」（17日～23日はアレルギー週間）です。アレルギーとは、私たちの体に備わっている防御機能である「免疫」が入ってきた異物に対して過敏に働くことで、さまざまな症状が出てしまうことをいいます。

最近では子どもの食物アレルギーが大きな問題として取り上げられています。命にかかわることもあるので、学校でも給食時等は家庭と連携して取り組んでいます。他にも、花粉症やアクセサリー（金属）によるかぶれもアレルギーです。

アレルギーの原因となる物質や症状が出る量は、人によって違います。また以前は平気だったものが、突然アレルギー反応を起こすこともあります。何かを触る・食べるなど特定の行動をとった時に「せき」「くしゃみ」「かゆみ」「赤く腫れる」などの症状がみられる場合はアレルギーかも知れません。早めに受診してください。（保健室より）

（家庭数配布）